

浜名湖花博10周年記念事業

第31回 全国都市緑化しずおかフェア視察研修

情報厚生委員長 田丸 敬三

本年の緑化フェアは、平成16年に開催された「浜名湖花博」の10周年を迎え、毎年開催される「都市緑化フェア」との同時開催として現在開催されています。

テーマは、「花と緑のオーケストラ」水辺で奏でる未来の暮らし」と、花博によって生まれた質の高い「場」を活用しながら、植物と暮らしのかかわりを様々に演出するとともに、花卉生産額が全国3位である静岡県として、花と緑にあふれた文化の創造、そして「楽器のまち浜松」の産業の振興などを目的に行われています。

今回は、10年前に花博の会場として創出された「浜名湖ガーデンパーク」と浜松市制施行60周年事業の一環として昭和45年に開園した「はままつフラワerpark」の2会場で開催されています。

今回の視察も、(一社)日本造園建設業協会東京都支部(一社)東京都造園緑化業協会そして当組合の三団体の共催で5月16日(金)17日(土)に行われ、総勢25名(内組合員17名)の参加のも行いました。

初日は「浜名湖ガーデンパーク」会場(GP会場)を視察致しました。現地では浜名湖花博10周年記念事業推進室屋外展示班の三好学氏、(一社)日本造園建設業協会静岡岡県支部事務局長の西島弘二郎氏(株)愛樹園、同静岡岡県支部技術委員長の石川正之氏(株)東海フォレスト)そして、GP会場の主催者庭園「未来の暮らし・創造しずおかガーデン」を設計コンペで優勝したガーデンデザイナーの小倉珠子氏(Outdoor Room Design)と同行・解説を頂きました。

30haの広大な敷地を約2000品種、100万株の草花で彩られています。特に10年前の花博を見られた方はお解り

でしたが、当時植えたばかりの樹木が立派に生長し、とても10年前が更地であったことが想像できない落ち着いた空間になっていました。入場ゲートを過ぎると花がつくる宇宙「花銀河」が見えてきます。「花緑が結ぶ絆」をテーマに全国の自治体が共同出展する大花壇で、銀河と星をイメージした花々が一面に広がり、特に隣接する展望塔からの景観はすばらしいものです。

その先には、チェルシーフラワーショー、ゴールドメダリストの石原和幸氏の特別展示の「Fegantio」と、今回解説して頂いた小倉氏のデザイン



小倉珠子氏の説明



参加者記念撮影

の静岡ガーデン「彩園(Saen)」があります。静岡県の地形や風景の特徴を日本庭園の「縮景」で表現し、富士山や南アルプスの山々を模した芝の築山、手前に浜名湖や遠州灘、駿河湾をイメージした池や石組み、その間に緑色の茶畑のうねが広がる風景をモチーフにした木々などを配置し、静岡県の特産品のみかんやお茶などの植物材料を用いて静岡の自然の豊かさ・特徴を表現した和の落ち着いた洋のテイストを持ち合わせたモダンな庭園でした。



浜名湖ガーデンパーク “花美の庭”



内山氏(日造協静岡岡県支部長)と高柳氏(浜松市花みどり振興財団)の丁寧な説明

ます。ここでは30分毎に音と水の噴水ショーを見ることが出来ます。歩き進むと「大温室クリスタルパレス」があり、この時期は「ヒマラヤの青いケシ」や「ヒスイカズラ」の花が見ることが出来ました。その横にはこの時期一番人気の約170品種・1000株の「ローズガーデン」があります。皇室・王室に献上され命名されたバラや未だ数の少ない青いバラなどのコーナーやバラで覆われたガゼボなど見所満載で多くの方が足を止められ写真を撮られていました。もう一つの見所は今回のフェアのために新たに作られた「スマイルガーデン」です。ガーデンデザイナーの吉谷桂子

氏プロデュースの全長150mのイングリッシュボーダーガーデンで今の時期は白や青のグラデーション豊かな配色で皆さんの目を楽しませていました。又この公園は「モザイクカルチャー」を日本で広めた「浜松モザイクカルチャー世界博2009」を開催した場所で、メモリアルガーデンとして多くの作品が展示してあります。主催者である浜松市出展の「ほほえみのハーモニー」は楽器のまちそして花卉生産のまち浜松を見事に表現した作品でした。

他にも昨年(公財)浜松市花みどり振興財団理事長に就任された女性樹木医第1号の塚本こなみ氏によるアイデアで約1300本の桜並木に色とりどりの約50万球のチューリップの共演がすばらしいオランダ・キューケンホフ公園のような「世界一美しい桜とチューリップの庭園」や藤棚や花菖蒲などが見所でしたが、残念ながら今回は時期が違い、見学することが出来ませんでした。

この他にも、2日目は、小堀遠州作庭の東海地方一とも言われる池泉鑑賞式庭園「龍潭寺庭園」(国指定文化財・名称記念物)や、航空自衛隊浜松広報館「エアパーク」を視察し、終了となりました。

今回ご案内していた方々、参加して頂いた方々そして社員の方を派遣して頂きました上司・追記・・・しかし、一番盛り上がったのは何を隠そう夜の交流会、そして解散後有志で堪能した「八百徳」のうなぎだったのではないのでしょうか。そして一番盛り上がったのは情報厚生委員のTさんであったのは誰もが疑わないでしょう。このお話は是非参加した方々から聞いて下さい！

通常総会を開催

決算関係書類事業計画など承認

平成26年度通常総会は、2月25日(火)午後4時から渋谷東武ホテル「鳳凰の間」で開催されま

した。出席者は26人(内委任状出席6人)で、高橋一輔理事長を議長に選出し、「平成25年度事業報告及び決算関係書類承認」「平成26年度事業計画、収支予算並びに経費の賦課及び徴収方法決定」「平成26年度借入金残高の最高限度決定」「役員報酬決定」「平成

26年度総会議決事項の修正委任」の5議案および報告承認事項の「平成25年度職業訓練法人東京都造園高等職業訓練校の運営について」慎重に審議し、承認されました。

また、午後4時45分からは山下ようこ氏(園芸アドバイザー)を講師にお招きして、講演会「明日の地球と笑顔のための環境・農業・緑化」を開催し、緑化推進の意義について熱く語られました。

講演会終了後、多くの組合員が参加して懇親会を開催し、相互の親睦と情報交換を図りました。



山下ようこ氏による講演会の様子

また、午後4時45分からは山下ようこ氏(園芸アドバイザー)を講師にお招きして、講演会「明日の地球と笑顔のための環境・農業・緑化」を開催し、緑化推進の意義について熱く語られました。

講演会終了後、多くの組合員が参加して懇親会を開催し、相互の親睦と情報交換を図りました。

また、午後4時45分からは山下ようこ氏(園芸アドバイザー)を講師にお招きして、講演会「明日の地球と笑顔のための環境・農業・緑化」を開催し、緑化推進の意義について熱く語られました。

講演会終了後、多くの組合員が参加して懇親会を開催し、相互の親睦と情報交換を図りました。

造園技能検定受験 対策講習会を開催

東京都造園高等職業訓練校では、1級・2級造園技能検定を受験される方を対象として、受験対策講習会を平成25年7月に開催しました。

初日15日(月)は造園会館8階会議室で座学による「実技試験の受検要領」、16日(火)、17日(水)は明星大学青梅校舎試験会場での実技実習講習会を実施。受講者は、1級が17人、2級が5人の計23人の方が受講されました。当日は、大変に暑い日で、その中でも受講生の皆さんは全員



組合の存在価値は

東京都造園建設業協同組合 副理事長 和田新也 (箱根植木(株) 代表取締役)

に大きく寄与し、この60年の間に業界も業界団体も大きく発展してまいりました。そして現在では日造協に代表される全国組織や地域の造園団体が多数存在するに至っています。

一方で、例として(一社)東京都造園緑化業協会の目的を見ますと、「本会は、都市環境における緑の重要性を深く認識し、緑化意識の高揚に努めると共に、造園緑化技術の向上、研究開発を行い、首都の緑の保全及び緑化の推進に寄与することを目的とする。」となっています。

さて、設立後間もない同年11月には早速労働省に対し他の職能工に比して造園工単価が低すぎるとして、増額の陳情を行っています。その後も皆様ご存じのとおり、当組合は造園界発展

のか。他団体との違いは何か。迷った時には、原点回帰。設立時の定款に記載された目的は「本組合は組合員の親睦と業界の向上発展並びに共存共栄を図り、併せて相互の福利を増進し、

このことは、組合の存在意義は高所の議論のみでなく、組合員各々の日常の問題点を気象に相談できる場となること、組合の存在価値ではないでしょうか。

平成 26 年度 造園関連資格試験の日程

資格名	申込期間	学科試験日	実技試験日	問合せ・申込先
1・2級造園技能検定	4月7日～4月18日	8月24日(日)	7月28日～8月1日	東京都職業能力開発協会
1級造園施工管理技術検定	5月19日～6月2日	9月7日(日)	12月7日(日)	全国建設研修センター
2級造園施工管理技術検定	5月19日～6月2日	11月16日(日)	11月16日(日)	全国建設研修センター
植栽基盤診断士補	5月7日～5月16日	6月5日(木)	6月4日(水)	日造協関東甲信総支部
植栽基盤診断士試験	8月15日～8月29日	9月21日(日)	11月中旬	日本造園建設業協会
街路樹剪定士	10月20日～10月28日	12月1日(月)	12月2～3日	日造協東京都支部
樹木医	5月1日～6月10日	7月27日(日)	9月29日～10月11日	日本緑化センター
公園管理運営士	4月1日～6月13日	7月26日(土)	12月6日～7日	公園緑地管理財団
1級土木施工管理技術検定	4月1日～4月15日	7月6日(日)	10月5日(日)	全国建設研修センター
2級土木施工管理技術検定	4月14日～4月28日	10月26日(日)	10月26日(日)	全国建設研修センター
1・2級建設業経理士	5月10日～5月31日	9月7日(日)		建設業振興基金

平成 26 年度 研修会・講習会の開催予定

講習会名	開催日	研修会場	募集人員
※造園材料の見分け方研修会	5月9日(金)	新宿御苑	30
植栽基盤診断士補研修会(実技・学科)	6月4日(水)～5日(木)	埼玉建産連会館	80
※刈払機研修会	6月20日(金)	大井ふ頭中央海浜公園	50
農業土壌・特殊緑化技術講習会	6月23日(月)～24日(火)	国立オリンピック記念青少年センター	40
全国都市緑化しずおかフェア視察研修会	5月16日(金)～17日(土)	浜名湖ガーデンパーク他	30
※チェーンソー研修会	7月10日(木)～11日(金)	大井ふ頭中央海浜公園	50
1・2級造園技能検定受検対策講習会(実技)	7月15日(火)～17日(木)	明星大学青梅校舎	30
1級造園施工管理技術受検対策講習会	7月28日(月)～29日(火)	国立オリンピック記念青少年センター	40
※樹木剪定研修会	8月26日(火)～27日(水)	都立代々木公園	20
植栽基盤診断士学科試験準備講習会	9月1日(月)	国立オリンピック記念青少年センター	60
2級造園施工管理技術受検対策講習会	9月25日(木)～26日(金)	国立オリンピック記念青少年センター	40
街路樹剪定士資格更新研修会	10月20日(月)	国立オリンピック記念青少年センター	100
植栽基盤診断士実技試験準備講習会	11月2日(日)	戸越公園管理事務所	24
※樹木手入れ講習会(日曜植木)	10月19日(日)・25日(土)	日比谷公園	100
街路樹剪定士認定研修会・試験	12月1日(月)～3日(水)	国立オリンピック記念青少年センター・多摩NT	86

○お問合せ・お申込みは、当組合事務局 (TEL: 03-3496-2611) まで

※印は (一社) 東京都造園緑化業協会主催 お問い合わせは、同協会事務局 (TEL: 03-3462-2858) まで

新入社員教育講座

農薬土壌・特殊緑化技術講習会 開催案内

■日 時: 6月23日(月)～24日(火)

■講義内容

1日目: 農薬・肥料・病害虫
土壌・土壌改良

2日目: 特殊緑化技術・人工地盤
資材・施工技術・管理

■会 場: 国立オリンピック記念
青少年センター

■受講料 会員: 10,000円
(テキスト代込み) 一般: 12,000円

■申込期間: 5月26日～6月10日

1・2級 造園技能検定 受検対策講習会 開催案内

■日 時: 7月15日(火)～17日(木)

■講義内容

15日: 実技試験の受験要領
16日: 実技実習指導
17日: 実技実習指導

■会 場

15日(座学) 造園会館8階
16日(実技) 明星大学青梅校舎
17日(実技) 明星大学青梅校舎

■受講料: 会員: 27,000円(テキスト代込)
一般: 30,000円(テキスト代込)

■申込期間: 5月26日～6月10日

1・2級 造園施工管理技術検定 受検対策講習会 開催案内

■日 時: 1級: 7月28日(月)～29日(火)
2級: 9月25日(木)～26日(金)

■講義内容

1日目: 関連法規、計画設計、造園材料
2日目: 造園施設、施工管理、工程管理

■会 場: 国立オリンピック記念
青少年センター

■受講料: 会員: 18,000円(テキスト代別途)
一般: 25,000円(テキスト代別途)

■申込期間: 1級: 6月24日～7月10日
2級: 8月26日～9月9日

お問合せ・お申込みは、当組合事務局 TEL: 03-3496-2611まで

編集後記

平成29年度に開園100周年を迎える井の頭恩賜公園では、井の頭池の『かいぼり』作業が行われました。この「井の頭池」は、初めて江戸にひかれた水道、神田上水の源であり、明治31年に「改良水道」ができるまで重要な役割を果たしていました。「井の頭池」の命名者は、三代将軍徳川家光と伝えられています。その意味としては「上水道の水源」(このうえなくうまい水を出す井戸)という二つの説があるそうです。かつては、杉の水源涵養林が池の水面をおおい、美しい風景を作り出していたようですが、今では樹の種類や林の様相は時と共に変化し、「郊外」という響きも薄れてきました。都民の憩いの場であることには変わりはありません。約4万3千㎡の池を擁しているそんな歴史ある公園を眺めながら、去る3月19日に委員長・事務局長と三人で東京都西部公園緑地事務所の細岡晃所長を訪れました。年度末のお忙しい中にも拘わらずお会いして頂き、「かいぼり」作業の様子や公園の現状などを説明してもらい、当機関紙への寄稿も快く引き受けていただきました。誠に有難う御座いました。

当組合は、創立から平成26年2月で60周年の還暦を迎えました。そして、60年に亘って造園業界育成と発展のために多くの役割を果たしてきました。一昨年に、高橋一輔理事長の「今こそ本邦を代表する造園施工業界の組合員皆様と連携し、活力を取り戻す時」との熱い思いから、第29回全国都市緑化フェア TOKYO の開催に合わせて組合だよりを再発行するに至りました。今後も私たち情報厚生委員会(注)は、「継続は力なり!」をモットーに、さらに情報の収集と発信に精進して参りたいと思います。

最後に、当組合は共通の目的をもって同志が集まった「相互扶助組織」であります。是非とも会員皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

情報厚生委員会 副委員長
松尾 長才